

漁海況月報

令和4年9月30日
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

1 海況

○ 黒潮流路

9月26日の人工衛星画像によると、黒潮は熊野灘沖の北緯31度付近から遠州灘沖北緯30度付近まで南下した後、八丈島の南を流れている。現在の流路は、黒潮流軸の南端が北緯32度以南かつ東経136度から139度に位置するA型基調で、八丈島の南を通過する流路となっている。

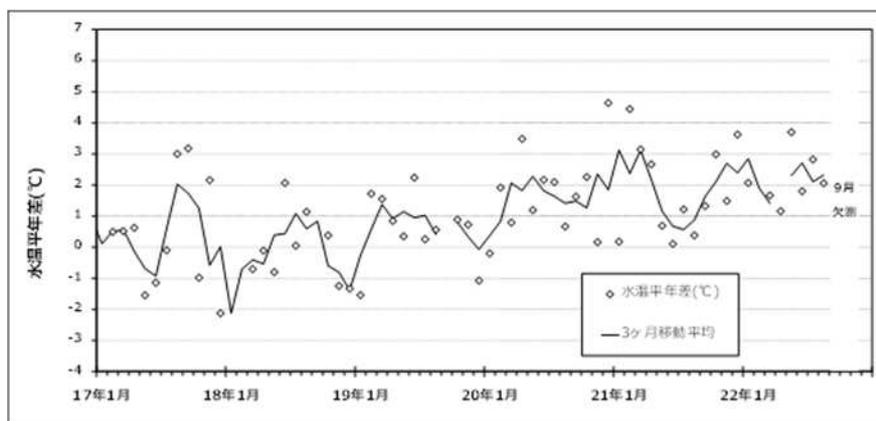
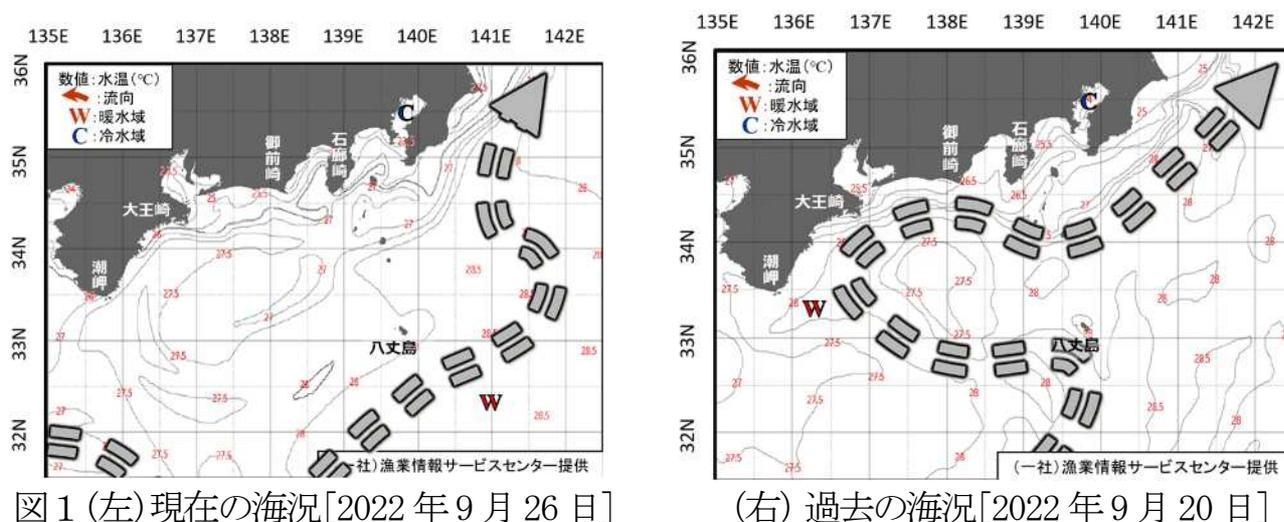
○ 渥美外海の状況

現在、遠州灘沖北緯34度付近に存在する暖水渦の影響により、黒潮の暖水波及が生じ、渥美外海では高温傾向が続いている。

○ 予想

現在、流路変動に影響する黒潮流量の指標となるトカラ海峡（名瀬ー西之表）の潮位差は増加傾向にあるものの依然低い水準で推移しており、大蛇行離岸流路が継続すると推測される。

(参考：潮位データを用いた黒潮モニタリング；<https://ovd.aori.u-tokyo.ac.jp/tides/time2.html>)



2 イワシ類

(1) シラス

8月26日以降、内湾に卵は確認されたが、漁場が形成されず、9月26日に1ヶ月ぶりの操業(10ヶ統以上)が行われた。漁場は渥美外海が中心であった。

そのため、9月の出漁日数は26日現在、1日(昨年は12日)で、月計漁獲量は22トンとなっている。これは、昨年(1,098トン)及び平年(622トン)を下回っている(表5)。

1ヶ統の1日あたり漁獲量は、約41カゴであった(図3)。

全長組成(9月26日)は、モードが2.9~3.1cmで、2.1cm未満の小型個体の加入はみられなかった(図4)。

9月の伊勢湾におけるカタクチイワシの卵・仔魚の採集数は、卵(435個)は、平年(345個)を上回り、仔魚(29尾)は、平年(207尾)を下回った。卵では発育が進んだC卵の割合が65%(283/435個)で、昨年(16%)に比べ高い割合でみられた(図5、6、表3、4)。

伊勢湾内のカタクチイワシ卵は9月も引き続き、平年並みの水準で確認されていたが、台風に伴う降雨の影響により、湾内では表層沖向きの水潮が強まり、卵・仔魚が外海へ流され、内湾に漁場ができにくい環境にあったと推察される。

また、外海の黒潮流路もAs型が継続し、東向きの流れが強く、外海沿岸にシラスが溜まりにくい傾向にあったことが要因として考えられる。

今後、台風シーズンも終わりに近づくとつれ、内湾の海況は落ち着いてくると予想される。カタクチイワシ親魚の産卵水準は低下していくが、産卵は継続しているためシラスが滞留しやすい海況となれば、漁場が形成されると思われる。

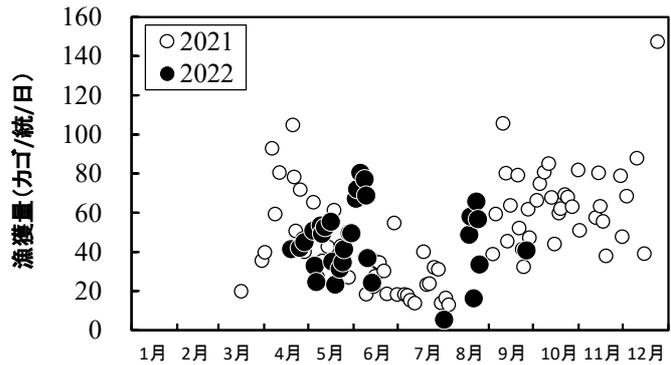


図3 シラス操業船のCPUE

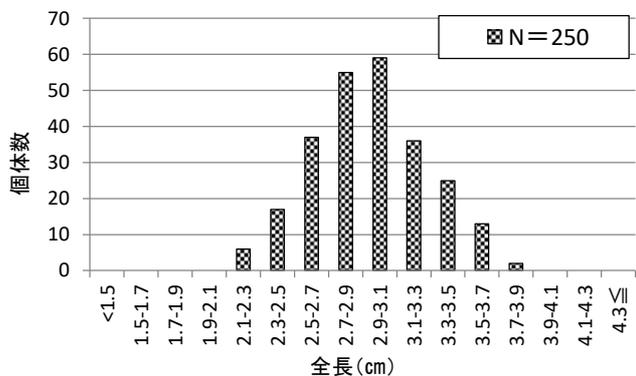


図4 シラスの全長組成(9月26日)

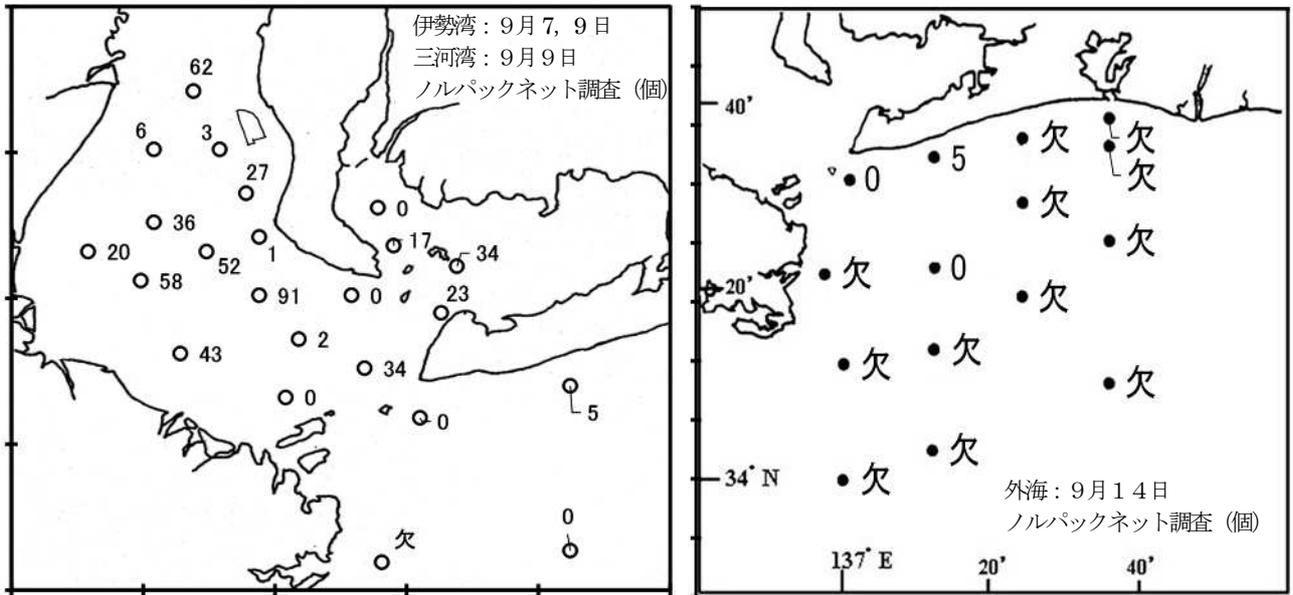


図5 カタクチイワシ卵の採集結果 (左図：内湾、右図：外海)

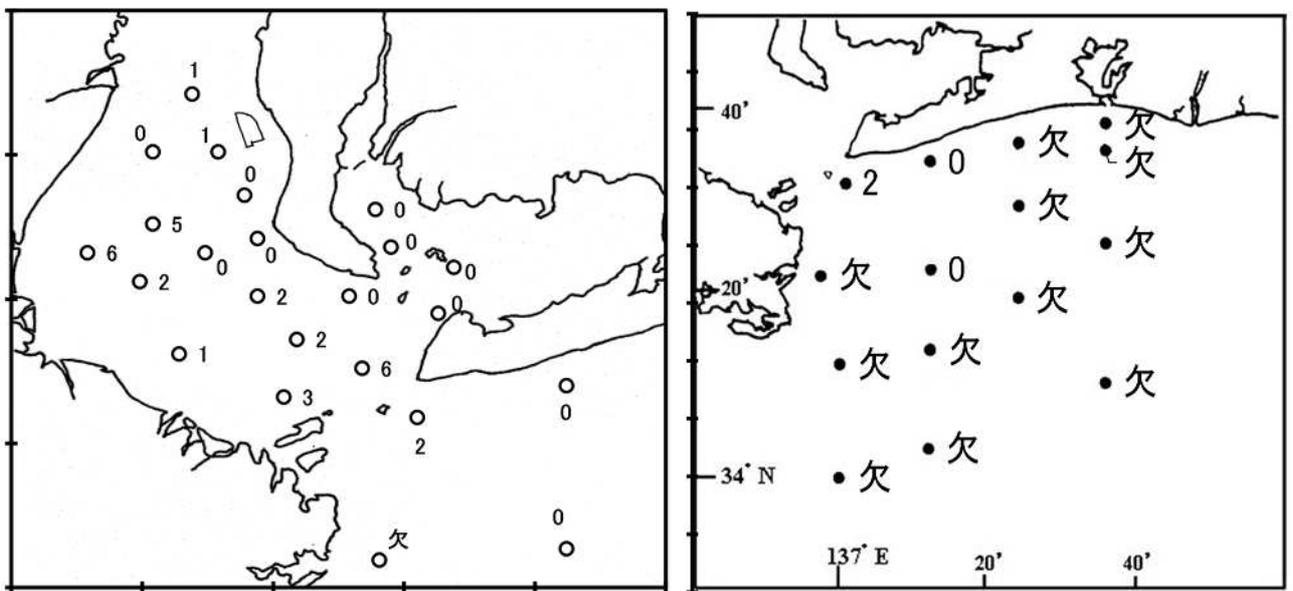


図6 カタクチイワシ仔魚の採集結果 (左図：内湾、右図：外海)

(2) マイワシ・カタクチイワシ

ぱっち網は、8月22日に三河湾を解禁し、マイワシ主体で漁獲した。三河湾のマイワシの大きさは、過去の同時期に比べて大きかったが、今年は予測していたとおり来遊尾数は少なかったと思われ、漁獲は長続きせず、CPUEは、8月22日38トン、24日23トン、26日9トン、29日17トン、31日4トン、9月2日0.1トンと減少し、12日間、計6回の出漁で三河湾のマイワシ漁は終了した。9月は、伊勢湾へ漁場を移し、月前半は週3回、後半は台風の影響もあり、週2回の頻度で出漁し、カタクチイワシ主体で漁獲している。

9月の操業日数は9日（昨年15日）で、月計漁獲量は、マイワシ72トン（昨年3,476トン）、カタクチイワシ3,100トン（同719トン）であった（表6、7）。

1ヶ統の1日あたり漁獲量は、マイワシが9月2日（0.1トン）、26日（2.9トン）と低水準である一方、カタクチイワシは10～25トンで昨年に比べ高水準で推移した（図7、8）。

三河湾のマイワシの大きさは、今年同様漁獲量が他年より少なかった2019年、2020年と同程度の大きさであった（図9）。伊勢湾のマイワシ（9月26日に漁獲）の大きさは、8月下旬に三河湾で漁獲された個体の大きさに近かった（表1）。

9月26日の伊勢湾北部で漁獲されたカタクチイワシには小型の個体も確認できたので、今後成長し、漁獲対象となることが期待される（表2）。

カタクチイワシの成熟度は、過去の傾向と同様、低下傾向にあるが、今後産卵されると思われる卵も確認できたので、低水準ながら、産卵は継続されると考えられる（図10）。

マイワシが、伊勢湾で漁獲され始めたが、成長した個体であり、今後、外海へ出ていくことが予想されるため、積極的に漁獲していくことが資源の有効利用としては望ましいと思われる。

カタクチイワシは、できるだけ漁獲を継続させるためにも未成魚を保護して、十分大きくしてから漁獲が望まれる。

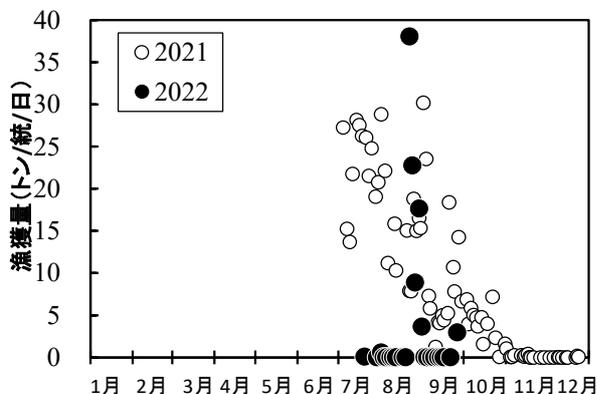


図7 マイワシの CPUE
＜速報値＞

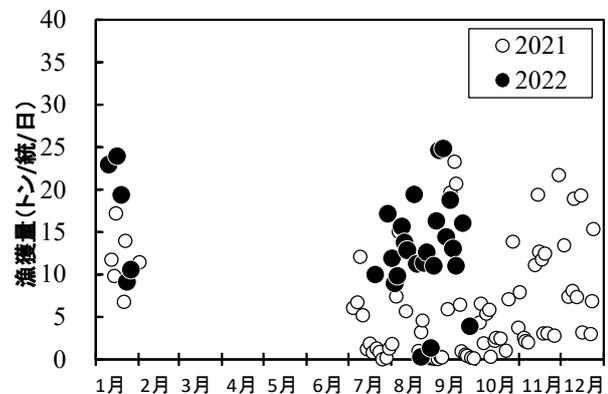


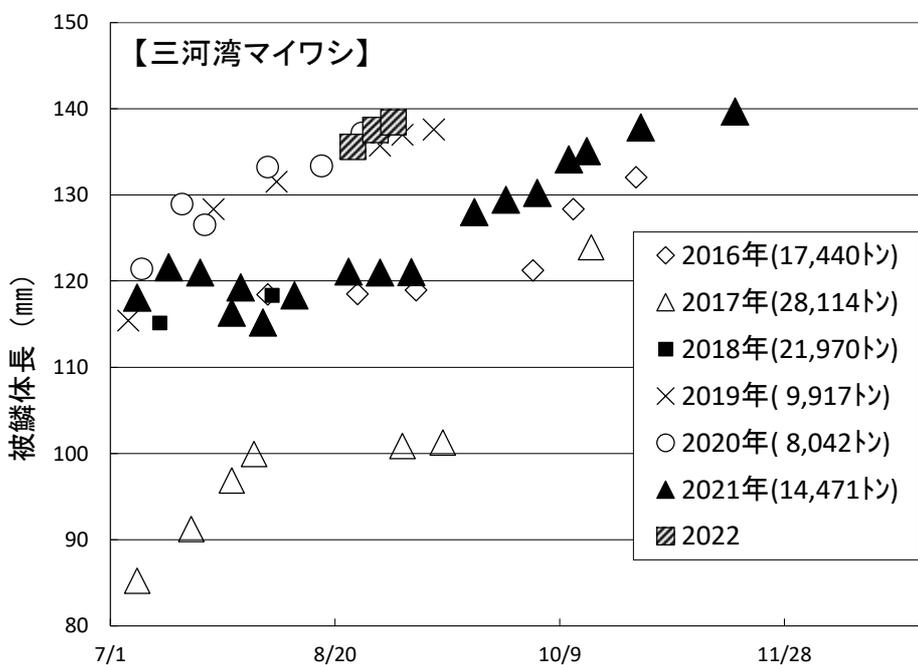
図8 カタクチイワシの CPUE
＜速報値＞

表1 マイワシの体長組成の推移

マイワシ 体長範囲 (cm)	伊勢湾			三河湾		
	7/20	8/1	9/26	8/24	8/29	9/2
~8.0		1				
8.0~8.5						
8.5~9.0						
9.0~9.5	2	3				
9.5~10.0	11	8				
10.0~10.5	57	3				
10.5~11.0	93	49				
11.0~11.5	35	106				
11.5~12.0	2	19				
12.0~12.5				4	1	
12.5~13.0			1	27	8	
13.0~13.5			9	60	28	
13.5~14.0			36	65	29	2
14.0~14.5			23	40	23	
14.5~15.0			7	4	10	
15.0~			1		1	
合計	200	189	77	200	100	2

表2 カタクチイワシ (伊勢湾) の
体長組成の推移

カタクチイワシ 体長範囲 (cm)	伊勢湾									
	7/12	7/20	7/29	8/1	8/12	8/19	9/7	9/12	9/16	9/26
~4										
4.0~4.5				4						
4.5~5.0				10				2		
5.0~5.5				8						
5.5~6.0			3	9	2				1	1
6.0~6.5			4	1	9					2
6.5~7.0	3		5	1	10	8				3
7.0~7.5	11		8		30	30		9		6
7.5~8.0	58	3	20	2	41	49	1	40	14	22
8.0~8.5	103	68	101	35	43	52	15	64	43	43
8.5~9.0	50	99	52	91	41	51	75	50	61	13
9.0~9.5	12	26	7	34	22	9	62	28	53	7
9.5~10.0	2	4		5	1	1	42	5	24	2
10.0~10.5					1		5	2	4	1
10.5~11.0										
11.0~11.5										
合計	239	200	200	200	200	200	200	200	200	100



※凡例の()内
はその年の年間
漁獲量を示す。

図9 マイワシ (三河湾) の平均体長の推移

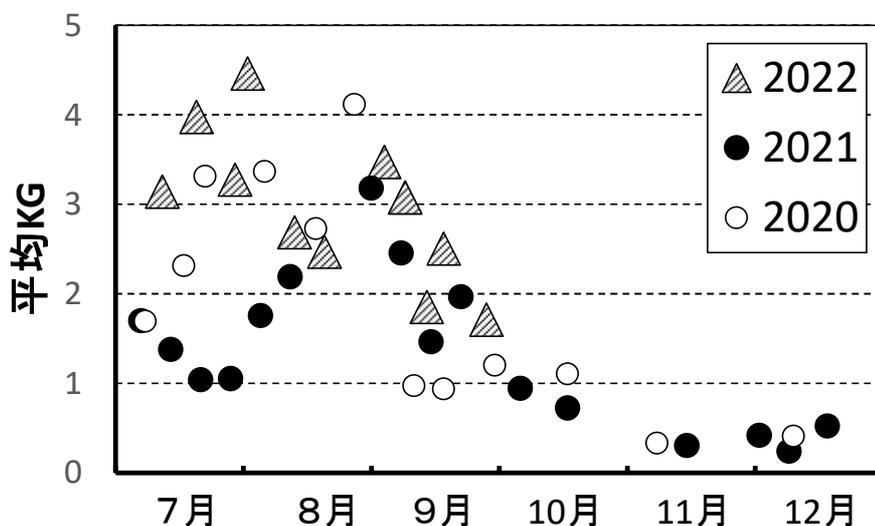


図10 カタクチイワシのKG (生殖腺熟度指数) の平均値の推移

表3 渥美外海のカタクチイワシ卵採集数(15点合計) ※9月の調査定点は3定点。(単位:個)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2016	0	0	0	50	27	24	93	10	2	1	0	0	207
2017	欠測	0	2	208	14	147	178	11	4	0	0	0	564
2018	0	0	72	102	25	144	154	0	欠測	0	0	0	497
2019	0	0	62	39	57	29	97	58	54	0	0	0	396
2020	0	0	0	1	0	116	30	89	11	13	3	0	263
2021	0	0	24	46	25	186	88	25	17	0	0	0	411
2022	0	欠測	23	1	203	212	247	351	5				1,042
10年平均	0	0	122	177	218	153	106	56	43	22	1	1	883

表4 伊勢湾のカタクチイワシ卵採集数(15点合計) (単位:個)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2015	-	-	-	1	191	160	30	1,291	61	132	768	-	2,634
2016	-	-	-	0	1,329	1,236	748	1,508	132	248	108	-	5,309
2017	-	-	-	0	17	29	215	494	2	1	1	-	759
2018	-	-	-	0	438	65	360	70	欠測	41	117	-	1,091
2019	-	-	-	0	70	2,518	2,593	627	52	37	118	-	6,015
2020	-	-	-	506	6,126	4,561	1,442	4,698	735	211	6	-	18,285
2021	-	-	-	2,985	1,227	2,258	1,765	2,607	746	212	25	-	11,825
2022	-	-	-	559	1,624	756	2,522	2,575	435				8,471
10年平均	-	-	-	351	1,044	1,338	1,460	1,426	345	121	144	-	6,194

表5 愛知県シラス類漁獲量 ※9月22日現在の速報値。(単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2015	0	0	6	980	3,255	1,466	40	166	164	1,002	1,886	938	9,903
2016	11	0	94	1,210	691	33	628	136	134	1,683	1,871	636	7,127
2017	5	0	0	885	2,247	0	11	38	31	172	85	104	3,579
2018	0	0	97	957	1,917	9	66	379	553	797	295	660	5,730
2019	0	7	389	676	1,472	1,349	884	1,119	1,514	45	9	302	7,766
2020	0	10	219	428	658	1,629	590	1,933	131	493	148	492	6,731
2021	0	2	101	1,295	631	676	392	48	1,098	1,397	743	317	6,700
2022	0	1	3	253	1,150	831	9	407	22				2,676
10年平均	3	2	91	786	1,581	689	426	617	622	845	648	414	6,725

表6 愛知県カタクチイワシ漁獲量 ※9月26日現在の速報値。(単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2015	231	226	0	131	0	286	4,332	2,952	3,191	800	1,262	361	13,772
2016	85	0	14	0	851	5,944	6,352	1,705	2,481	351	504	1,146	19,434
2017	15	21	62	23	194	3,039	2,659	1,725	1,038	340	583	346	10,045
2018	0.3	7	0	12	33	2,795	1,654	945	1,294	149	13	40	6,943
2019	172	38	32	2	0	1,339	4,128	1,692	1,432	2,564	803	515	12,717
2020	4	35	27	0	0	0	2,698	2,115	1,620	2,924	1,920	2,117	13,462
2021	302	48	0	0	0	0	691	1,062	719	766	1,674	1,593	6,853
2022	505	0	0	0	0	0	532	2,551	3,100				6,689
10年平均	130	37	14	108	362	2,074	3,452	2,502	1,939	1,207	1,239	942	14,006

表7 愛知県マイワシ漁獲量 ※9月26日現在の速報値。(単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2015	76	78	0	0	0	4	1,010	2,100	2,408	2,684	1,413	574	10,348
2016	74	0	0	0	44	551	1,255	5,255	4,216	3,994	1,379	672	17,440
2017	0	0	0	0	181	1,380	6,258	5,153	4,497	5,445	3,311	1,888	28,114
2018	61	0	0	0	0	2,605	5,555	4,999	4,701	2,944	1,103	2	21,970
2019	210	40	4	0	0	1,311	2,634	3,886	1,417	152	256	7	9,917
2020	0	0	0	0	0	0	3,502	1,995	2,351	174	15	5	8,042
2021	0	0	0	0	0	0	6,128	4,125	3,476	703	35	5	14,471
2022	0	0	0	0	0	0	2	1,568	72				1,642
10年平均	42	12	0	0	23	604	2,677	3,014	2,491	1,677	793	333	11,665